第22回 芳賀町中学生 海外派遣事業

11月3日(木)から11日(金)までの9日間、第22回芳賀町中学生海外派遣事業が実施されました。芳賀中の2年生8人、3年生6人が、カナダのバンクーバーやビクトリアへ派遣されました。

この事業は、外国の風土・文化・人々との異文化体験学習を通じて、自らのよさを生かしながら語学力の向上と国際感覚を養い、将来の地域社会の発展に資する郷土愛に優れた青少年を育成することを目的としています。カナダでのホームステイや学校訪問など、海外で貴重な体験をした14人の今後の活躍に期待しましょう。

派遣団長・芳賀中学校長　岩渕　徹

3年目のカナダ、バンクーバーとビクトリアへの海外派遣となりました。今回は、14名の生徒が海外派遣事業に参加しました。今回は、ビクトリアでのホームステイを1日多くして5泊としました。治安が良く文化と自然が豊かなビクトリアでの生活を多くして、よりカナダでの生活に慣れてもらうことが狙いでした。はじめは、緊張や不安があった生徒達でしたが、次第にカナダでの生活に慣れ、たくましくなっていきました。今回は更に、コルキッズミドルスクール訪問の他にも、ビクトリア市長との面会や託児所訪問もあり、様々な経験ができました。今後この経験を、芳賀中学校や芳賀町のために還元してくれることを期待しています。

結びに、このような貴重な経験をさせて頂いた町関係各位、並びに町教育委員会に感謝とお礼を申し上げます。

日　程　表

月　日	場　所	内　容
11月 3日	成田空港 バンクーバー空港 ビクトリア	カナダに向けて出発 バンクーバー到着 フェリーでビクトリアへ移動
11月 4日	ビクトリア	ビクトリア市内見学 ビクトリア市庁舎訪問 ホームステイオリエンテーション ホームステイ開始
11月 5日～8日	ビクトリア	ホストファミリーと過ごす
11月 7日	ビクトリア	学校訪問（コルキッツミドルスクール)
11月 8日	ビクトリア	託児所訪問 ビクトリア市内見学
11月 9日	ビクトリア バンクーバー	ホストファミリーとお別れ バンクーバー市内見学
11月10日	バンクーバー空港	日本に向けて出発
11月11日	成田空港	成田到着

派遣団員名簿

3年	高良ユカリ
3年	船生萌
3年	大根田愛華
3年	鴛海咲紀
3年	平野海飛
3年	鈴木里奈
2年	瀬古朱里
2年	戸口明香里
2年	菅谷楓
2年	小林由佳
2年	大関勇太朗
2年	上野愛佳
2年	小口陽由
2年	永長悠希
団長	岩渕徹
引率	篠原めぐみ
引率	森本真司

3年　高良ユカリ

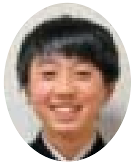
私たちは、国際的視野の拡大、地域のよさの再確認、語学力の向上、社会性の育成などを目的として、芳賀町の代表としてカナダに海外派遣に行ってきました。9日間という短い期間でしたが、とても充実した日々を過ごすことができました。ホームステイでは、苦労しながらも自分たちのことや日本のことを伝えようとがんばりました。カナダの文化を学ぶことで、日本の文化の長所や短所に気づくことができました。

また、人々の温かさや、暮らし方など、英語の教科書では学べないことをたくさん学ぶことができ、貴重な経験をさせていただきました。

3年　大根田愛華

コルキッツ・ミドルスクール訪問では、全体交流会で、制服、柔道着、弓道着、浴衣を着て日本の服の紹介をしました。制服を紹介したとき、カナダでは決まった服を着て学校に行くという決まりがないのでとても驚いていました。

スクールには様々な国籍の人がいました。また、半袖を着ている人、長袖を着ている人、ヒジャブを巻いている人もいました。浴衣の着付けの際、"Any volunteers?（手伝ってくれる人いますか）〟と聞くとほとんどの生徒が手を挙げていました。カナダの人たちは積極的な人が多いと思いました。この積極的な態度は私たちも見習わなければならないと思いました。



2年　大関勇太朗

渡航前、カナダは気温が低いことを聞いていましたが、想像以上に寒かったです。しかし、カナダの人々は、日本人とは違って暑がりなのか、半袖短パンの人がたくさんいました。また、食べ物の量がとても多く、Sサイズのポテトを注文したのに、一人で食べきれるのか心配になるほどの量が盛ってありました。Mサイズにもなると、4人でも食べきれませんでした。

車の走る車線は日本と反対で、左ハンドル右側通行です。道路を渡るときには、日本と反対側から車がくるので、危なく感じたときが何度かありました。横断歩道の形も様々でした。また、街中を歩いていると、なんとなく甘い香りがしました。空気が乾燥していて、すぐにのどが渇きました。しかし、のんびりした空気が街中にあふれていて、とても過ごしやすいところだなと感じました。

2年　上野　愛佳

私のホストファミリーは、とても明るく、にぎやかな家族でした。初めは、ホストファミリーと話すのはとても緊張していましたが、車での移動中や一緒に遊ぶうちにだんだんと話ができるようになりました。

休日にはフィッシャーマンズワーフへ連れて行ってもらいました。そこには、海鳥やアザラシがいました。船がたくさん止まっていて、とても美しい場所でした。他にもショッピングモールやボウリング場など、いろいろな場所へ連れて行ってもらいました。

やっと慣れてきたというところで、ホームステイ最終日の夜となってしまいました。ホームステイさせてもらった感謝を伝えるために、ハンバーグや豆腐グラタンなどの料理を作ったり、感謝の手紙を読んだりしました。感謝の気持ちを十分に伝えることができたと思います。

2年　永長　悠希

学校訪問で、私たちの班では、折り紙と漢字を紹介しました。折り紙は、やっこさんと「ハート」をコルキッツの生徒たちと一緒に作りました。私たちの英語の説明をきちんと聞いてくれて、一生懸命に折ってくれてとても嬉しかったです。私たちがコルキッツの生徒たちの名前に当て字の漢字を考えて、その漢字を半紙に筆ペンで書いてもらうという活動もしました。最後に、折り紙や剣玉をプレゼントすると、みんなとても喜んでくれました。

この日のために、原稿を用意したり、説明や発表の練習をしたりしましたが、本番では頭が真っ白になりました。しかし、コルキッツの生徒たちは盛り上げようとしてくれて、日本の文化にも興味を持ってくれたので本当に良かったです。